

事業所における自己評価結果 (公表)

職員9名 回収数9 割合 100%

チェック項目		はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		1		利用定員に対して適切なスペースではありますが、スペースに合わせて安全に活動するようにしています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	3	2	4		人員配置は満たしていますが、人事異動もありギリギリの配置となっている。入職した職員の研修に力を入れ、専門的な知識を持った職員を増やしたい。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7		2		トイレ・手洗い・靴入れ等は、絵カードを使って分かりやすくしています。又、部屋の敷居は段差をなくし、バリアフリー化になっております。入口については、自動ドアを手動にし安全に配慮しています。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	8		1		業務改善が進むよう、支援方法や1日の反省等を職員同士で共有できるようにしています。	
	⑤ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9					
	⑥ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9					
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1	3		まだそのような機会がありませんが、実施した場合には結果を業務改善に繋げていきます。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		1		今後、研修の機会を増やしていきます。	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9					
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8		1	つみきの会の療育プログラムに沿ってプログラムを作成しています。	個々の課題に合わせて、つみきの会プログラムを取り入れ、臨機応変に対応しています。	
	⑪ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9					
適切な支援の提供	⑫ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9					
	⑬ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9					
	⑭ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9					
	⑮ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8		1		状況に合わせて集団活動を取り入れています。	
	⑯ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		1		朝礼で一日の活動、共有事項を話す時間を作っています。申し送りノートも活用しています。	
	⑰ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7		2		毎日の振り返りでその日の情報を共有し、出勤していない職員にも共有できるよう記録を残すようにしています。4月以降、定期的なMTGの機会を増やしたいと思っています。	
	⑱ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9					
	⑲ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9					
	連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	9				
		㉑ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7		2		必要に応じて、関係機関と適宜ケース会議を開催しています。
㉒ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		2		7		現在直接的に医療的ケアを必要とする児童は在籍していませんが、医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合には各関係機関と連携して支援を行って参ります。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	7			現在直接的に医療ケアを必要とする児童は在籍していませんが、医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合には各関係機関と連携して支援を行って参ります。
	⑮	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	1			相談支援事業所などを通じて情報提供や共有は行っております。また、必要に応じ各機関との情報共有と相互理解に努めて参ります。
	⑯	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	1			必要に応じて各機関との情報共有と相互理解に努めて参ります。
	⑰	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	4		必要に応じて各機関と連携し、助言や研修を受けていきます。
	⑱	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	2	2		今後の課題として検討していきます。
	⑲	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	2	5		そのような機会があれば参加していきます。
	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9				
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5		4		面談は6か月に1回行い、その都度、相談や助言をさせていただきます。今後、家族支援プログラムも計画し、実施できるよう努力して参ります。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9				
	㉓	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9				
	㉔	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9				
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	1	1		今年度初めて交流会を開催しました。定期開催できるよう計画していきたいと思っております。
	㉖	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		1		申し送りノートを作成し、情報共有をしてお互いに対応できるようにしています。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		4	公式ラインを導入しています。	その都度、公式ラインツールを使用し、発信しています。行事報告は掲示して発信しています。
	㉘	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8		1		法人の個人情報保護規定において管理運営しております。
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9				子どもとのコミュニケーションは絵、写真、文字など、その子に合ったツールを使用し、意思の疎通や情報伝達を状況に合わせて対応しております。
非常時等の対応	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	4		今後の課題として検討していきます。
	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8		1		各マニュアルの策定はしております。契約時のマニュアルを配布し、周知しております。今後、子どもも参加できる避難訓練の実施を計画しております。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	6	1	2		今後、子どもも参加できる避難訓練の実施を計画しております。
	㉝	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	1	1		フェイスシートにててんかん持病の有無を記載していただいております。
	㉞	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	2	6		食事を提供していないため非該当
	㉟	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9				事故防止委員会を設置し、ヒヤリハットの確認をし、その都度職員全員で共有しています。
	㊱	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		1		虐待防止委員会を設置し、年に3回研修の機会を設けています。
㊲	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7		2		やむを得ない場合は、個別支援計画に記載して面談時に説明し了承を得るようにしています。	

※この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。